

第4次府中市食育推進計画における第4編概要

資料4-1

基本方針 1 ライフコースアプローチを踏まえた食育の推進

具体的取組 1 情報発信や支援体制を充実する

<課題>
市民一人ひとりの暮らしの中の健全な食生活の優先度を高めていく啓発、特定保健指導等はじめ健全な食生活を促す伴走支援を行う取組の利用を促す必要

<方向性>
・健全な食生活が健康にもたらす効果や、それらを実践する方法などの情報発信を充実させる取組を推進
・健（検）診の実施とその後の支援を推進

<主な取組>
・子どもから大人まで、食生活を見直し健康を管理できるように、重要性を啓発する機会と健（検）診の機会の充実

具体的取組 2 体験活動を通した取組を充実する

<課題>
子どもが健全な食生活の重要性を学び体験するための機会の確保の必要
若年期以降の市民も体験活動を通して健全な食生活の意義を理解し実践できるように意識付けをする必要

<方向性>
・子どもが手軽かつ健全な食生活を送るための学校教育や地域の様々な拠点での取組を推進
・大人が食生活への関心を保ち、見直す取組を拡大

<主な取組>
・関心を向けるゆとりのなかった層が食生活を改善するきっかけを得られるようなプログラムの実施

市民に期待する取組

幼少期から1日3食の習慣を身につけ、栄養の大切さを学ぶ
バランスのよい食事を意識し、野菜摂取や減塩料理などを実践する
健（検）診を毎年受診し結果を活用し、健康管理を行う

食に関する体験活動や各種講座に参加し、関心を持つ
会話を通じてバランスのよい食事の重要性について理解を深める
自分の食生活や生活習慣を振り返る方法を学び、それを実践する

第4次府中市食育推進計画における第4編概要

基本方針 2 ソーシャルキャピタルを活用した食育の推進

具体的取組 1

食育推進リーダーを育成・支援する

<課題>

食育推進リーダーを増やしていくこと、活動を期待する場を検討し食育推進リーダーの力を更に活かしていくことの必要

<方向性>

・食育推進リーダーを増やすための情報発信を行い、リーダーと共に活動しやすい環境の整備を行い、食育を推進していく

<主な取組>

・リーダーを知らない市民や、参加を迷っている市民など幅広い主体に登録を促す情報発信
・市の様々な事業において、リーダーと共に協働を検討

具体的取組 2

協働による食育を推進する

<課題>

団体や企業等との連携・協働をさらに広げていくこと、食を通してつながりを強められるようにするため既存の取組を継続的に改善していくことの必要

<方向性>

・これまでの取組により築いてきた市と団体や企業等との協働関係により一層活発化し、食育を推進する
・地域住民が集い交流できる場や、世代間が食を通して交流を確保する取組を通して食育を推進する

<主な取組>

・新たな団体や企業等との連携・協働関係の促進
・関係機関や庁内栄養士が連携した情報発信
・居場所・共食等を通じて取組を推進

市民に期待する取組

自身の食生活について身近な人と話す機会をもつ
食育推進リーダーの役割を理解し、食育活動に参加する

家族や友人、地域住民とともに食事を楽しむ機会をつくる
地域で食を通じた居場所作りをしている団体等の取組に参加する

第4次府中市食育推進計画における第4編概要

基本方針 3 より良い食環境づくりの推進

具体的取組 1

食の循環を支え、食文化を継承する

<課題>

地産地消や食文化への理解を深める取組の強化が必要、食品ロスの削減を目指す取組が必要

<方向性>

- ・地産地消・伝統的な食文化の推進
- ・食品ロスの削減に向けた取組の推進

<主な取組>

- ・子どもに食文化への理解を促す取組の継続
- ・大人に食文化への関心を喚起する取組の推進
- ・調理時・購入時における食品ロス削減の一層の啓発

具体的取組 2

食の安全・安心につながる情報を提供する

<課題>

更なる市民の防災意識の醸成が必要、食の安全性や食品表示に関するこれまでの取組の着実な継続の必要

<方向性>

- ・災害時の食生活に向けた支援
- ・食の安全性や食品表示等に関する情報提供の充実

<主な取組>

- ・食料品・飲料水・口腔ケア用品の備蓄の必要性についての情報発信
- ・食の安全性や食品表示に関するこれまでの取組の着実な継続

市民に期待する取組

地場産物に関する知識や正しい食事マナー・作法を身につける
食べ物の必要以上の購入を控え、作りすぎないように注意する
飲食店では、食べきれる量の注文を意識する

災害に備えて食料や飲料水、口腔ケア用品等を備蓄し、ローリングストックを実践する
アレルギーや食中毒予防に配慮し、食品の産地を理解して選択に活かす